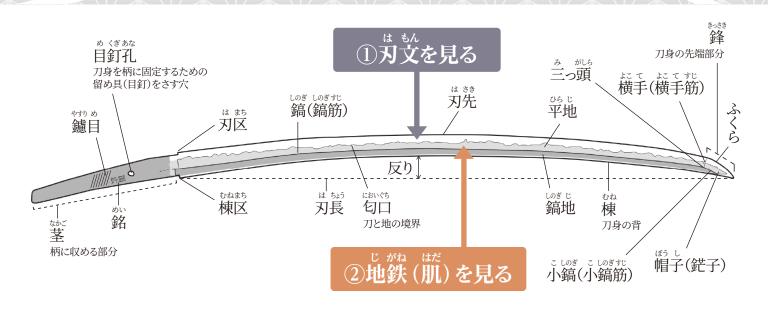
日本刀 鑑賞ポイント

※作成にあたり、バンク・オブ・アメリカの助成を受けました。



①刃文の種類

焼き入れの技術によって現れる線状の模様で、様々な形があります。刃文は刀剣を鑑賞する際の見どころのひとつで、 作者や流派を判断する要素のひとつとされています。





純粋な直刃はほとんどなく、 わずかに湾れ、乱刃の要素 がまじることが多い。

曲線的な刃文



湾れ 広い範囲でゆったりと波打つ 刃文。この中に丁子や互の 目などが現れることもある。



丁子 Ω字が連続して並ぶ刃文。 丁子の蕾に似ていることから その名がある。



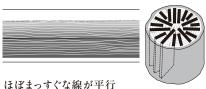
互の目 半円や山形などの突起が 互い違いに連なる刃文。丸い もの、角張るもの、尖るもの など様々な形がある

②肌の種類

鍛錬で鉄が折り返されたり、焼き入れをすることなどで地鉄とよばれる部分に現れる模様。 見た目が樹木の断面に 似ていることから木材用語が流用されています(*)。作られた時代や地域、流派を判断する材料にもなります。 *実際の木材用語とは相違があります。

柾目

している。



板目



不規則な山や波のような 模様。最も多くみられる。

本目



